

# ことしの パリ・モード

福 富 芳 美

パリでは毎年、一月と七月の二回、シーズンに先きがけて、デザイナーたちによって新しいモードが発表されます。

“モード”とは“流行”と訳されますが、この場合は日本語の「はやり」という言葉とは、ちょっと意味がちがいそれ以前の、試み、創作、ということなのです。それが一般に好まれてはやることを、ファッションといいます。だからモードは、ときどき奇抜すぎて、大衆性がなくふつうの人には着にくいので、ファッションとならないで、姿を消すものも多いわけです。

×  
×  
×

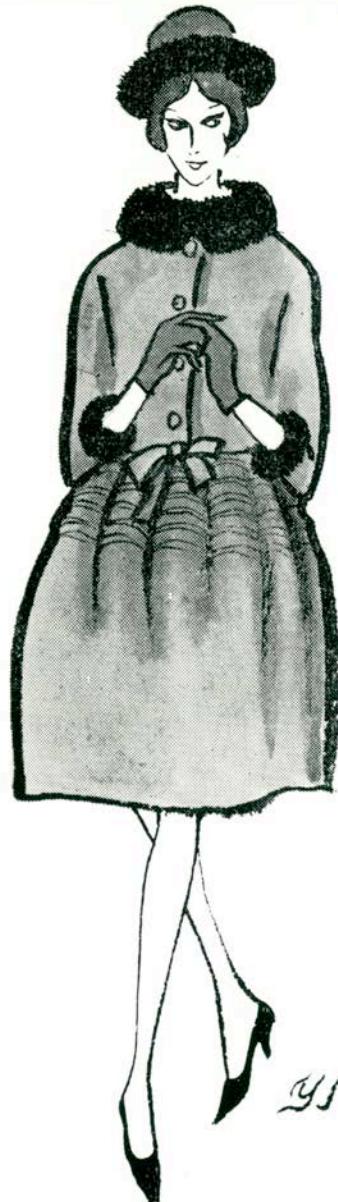
## ことしの新しいシルエット

全般には、一九三〇年ごろ、無声映画時代を再現したといわれた今春のシルエットを、さらに新しい感覚でデザインさせ、女らしくやさしいムードをもつたものにしようという傾向が見受けられます。

ディオールの表現をかりていえば

「柔らかく波うち、動きのあるライン」——ゆれうごく女らしいシルエットということになります。

自然な肩の位置、シェーブ（しめる）されたウエスト



## 裾ひろがりのスカート：ETC。

そしてことしは、シルエットを出すのにも、ダーツをあまり使わないで、わずかな切り替えと布地の伸縮とで柔らかく、からだにそわせるといった凝り方で、こうしたテクニックの上でも全体に感じがりバイバル的です。もちろんリバイバル調といっても、全く新らしい感覚でデザインされているわけで、このことはシルエットだけでなく、色彩や布地にも同じことがいえ、クラシックな調子が、新らしい感覚として出ているようです。

またことは、『頭』をつむのが一つの傾向としてあるようです。同じ布地のストールやフードで頭をつむだり、フード風の帽子など、『頭』をすっぽりつむだりデザインが多いようです。

このほかテクニックの特色としては、エリ、ゾデロ、スゾ、エリ巻きのほかトリミングにも毛皮が大へん多く使われていることです。フードの裏にも使われており、豪華さとともに懐古的な感じを出しています。

色彩は黒、茶、グレーなどとオーソドックスなものが流行のようです。

『シャルム62』——ディオール社のマルク・ボアンが発表した1962年冬のシルエットで、「小さい頭、ほつそりした肩、ハイバスト、長めの胸、平らなヒップ」が特徴のオーソドックスな、どちらかといえば英國調ともいえるスタイルです。

スカートは、広いフレヤーがつくかひざのあたりでヘムラインがわざかに広がっていて、この春の軽快なシルエットに代って、柔らかくゆったりした女性的ラインがとても落ち着いたふんいきを感じさせます。

やはり、ことしのファッショニも、ディオールのシルエットが中心となっているようですが、いずれにしてもフタをあけてみれば、どのデザイナーの作品も、多少の相異こそあれ、同じような傾向にある——というのが毎度のことです。ほんとうに『流行』の流れは不思議なものだと思わずにいられません。

(神戸ドレスメーカー女学院長)——談——

## 座談会

## おとこのオシャレ

きく人

松井高男  
(神戸新聞学芸部長)

出席者

安達昭三

(フナキヤ男子洋品店)

左近田駒之助

(三恵洋服店)

橋英次郎

(千秋堂男子洋品店)

女性よりも男性の方がオシャレ

松井 きょうは、男子専科といいますか、いわゆるオシャレ通のオシャレ談義ではなく、紳士服や紳士用品の雑貨のお店の方たちからみられた『男のオシャレ』についていろいろおききしたいのですが……むろん、『オシャレ』と一口にいっても、いろんな傾向があり、意味があるでしょうが、非常に一般的な意味で男のオシャレへの関心は最近、たかまつてきてるといえるのでしょうか。

橋 そうですね。近頃のレジャー

左近田 大体、中年以上のいわゆる年配者の方にオシャレは多いん

じやありませんか。四十五才以上から、いちばん多いのは六十才見当の方がオシャレですよ。

松井 オシャレは若い人や女性だけの特權のようないわざとましたがね。たしかに『年寄り』?どもはオシャレになりましたね。



(写真は松井部長)

左近田 年配の方のオシャレといいますのはいいですよ。例えば六十越したような方が、真っ赤なジヤケツを着たり、タータンチェックのハデなチョッキを着たりされると、とてもマッチしてキレイです。松井 若い人たちも、いままで主體性がなかつたといいますが、自分の身につけるものをより分けるでなく、なんでも目新しいもの

仲道 そうですね、オシャレはもういまでは『個性』をいかすところまで進歩してますね。やはり洋服にセーターなり、ネクタイを合わせて、また顔の色などによつて違った感じを出すといったふうですね。コントラストとかハーモニーとかの使い分けがみなさん上手になりましたよ。

松井 なるほど、オシャレもいよいよ本格的になつてきたというところですね。『衣食たつて礼節を知る』?というんですが『衣食たつてオシャレを知る』?ってわけですか(笑)

つまり、『選択』なんてことは、物心ともに余裕がなきりや出来ないことですからね。消費ブーム、所得倍増でゆとりが出来たかどうかは知りませんが、身につけるものも一通りそろつて、これからは選

があれば飛びついていたー』というが、自分で選択するということが身についてきたという感じじゃないでしょうか。

仲道 そうですね、オシャレはもういまでは『個性』をいかすところまで進歩してますね。やはり洋服にセーターなり、ネクタイを合わせて、また顔の色などによつて違った感じを出すといったふうですね。コントラストとかハーモニーとかの使い分けがみなさん上手になりましたよ。

松井 なるほど、オシャレもいよいよ本格的になつてきたというところですね。『衣食たつて礼節を知る』?というんですが『衣食たつてオシャレを知る』?ってわけですか(笑)

押していく段階に入いるのだとう、そういう移り目ですか。橋とくにワイシャツの流行といいますか、ずい分色がハデになつてきのではありませんか。とにかく昔なら女人が着るようなシャツを着てらっしゃいますね。かえってワイシャツのオシャレというのが多いようですよ。

仲道 スポーツ・ウェアや、セーターなどいわゆるスポーティに着るもののが、ずい分ハデになりましたね。「これ全部男物ですか」といわれるほどハデなものを着られるようになりますよ。かえつて一般的のビジネス風なものの方が地味な傾向ですね。

松井 そしてそういうハデなものを着ていても不自然でなくなつてきましたね。身についてきたという感じですね。

左近田 たしかにそうです。みんな色彩ということを上手に研究してらっしゃいますよ。私も三十六年間この仕事をやってきましたが、いちばんハデになつてきましたね。それは年配者になるほどよくわかりますね。少しもいや味がありませんわ。どういいますか、ほんとに自分で顔立ちと色めといふことをよく知つてらっしゃいますね。

松井 女性もタジタジということですね。(笑)

左近田 私たちからいわせれば、むしろ男の方がオシャレですよ。替え上着に替チヨツキ、替ズボンという人は、いちばんオシャレですよ。

松井 大体"オシャレ"という言葉の語感が、非常にうわついたものに感じられますが"オシャレ"



(写真左から仲道・左近田・橋・安達の各氏)

というのではなく"嗜好"が大へんハツキリしてきたということでしょう。仲道"オシャレとはあき性"なりという定義があるんですよ。武士道とは死ぬことと見つけたり"といふんじありませんがね

松井 "オシャレ道"なんてものもあるかも知れない(笑)

仲道 あきっぽい人ほど、次ぎから次ぎへと買つてくれるといふんでしょうね。

左近田 一つ買って三年も着るという人はメタタとないし、またそれではダメなんですよ。オシャレの人だと、ちょっと変わったものがいいれば、必ずそれをとり入れてくださいますね。またそういう余裕もおありなんでしょうがね。

松井 ご夫婦で、あるいはガール・フレンドと選びにこられるというのは増えましたか。

左近田 よくお見えですよ。その場合は、奥さまが気に入らないといふらうご主人が気に入られた品でもダメなんですよ。

松井 反対に奥さんが"いい"とおっしゃれば一度にきまるんですね。

安達 アベックのお客さまは、必ずといってよいほど、の方の意見に従がわれますね。

橋 私どもでもセールスは、家庭へ行って第一番に奥さんをとり入れることが条件になつてゐるんですよ(笑)奥さんと心やすくならないとだめなんですよ。

仲道 "将を射んとすれば馬を射よ"的ですね(笑)

松井 そうなりますとご主人、つまり男性のオシャレの自主性といふものも危ぶないものですね(笑)

奥さんにイニシアチブをとられてしまってね。

安達 先刻の「オシャレの定義」なんですが、あるものを上手にマッティングして着るのが本当のオシャレだという人もありますし、

次ぎ次ぎと新らしいものを求めるのもオシャレだという考え方もあるつて「オシャレ」の見解というのは大へん難かしいといえるんじやないでしようか。

左近田 一つのものを買ってそれを楽しんでいる人。昨日買ったのに、また次に新らしいものを買う人。たくさん買っておいて、順番に着ていく人もありますわね。橋一部には「ハデ」なものを思つてのがオシャレ」というように思つてる人があるんですね。本当のオシャレは、自分の個性にあつたグレーならグレー一色の洋服に、クツ、ネクタイなどをマッチしていつもキチンと着てらつしやる——こうした人が本当のオシャレじゃないでしようか。

左近田 私の大坂のお得意さんなんですが、その家にいきますとね。四間の押し入れぶつ通しに洋服が吊つてあるんです。しかもネクタイから帽子まで全部合わせて番号をうつてあるんです。この人は、自分の行き場所に応じて服を着替えるんですよ。一日少なくとも二回は替えるんですね。途中二カ所に洋服をあづけているんだそうですが、こういう人は本当のオシャレなんでしょうね。

松井 さいきんの一つのオシャレの傾向として「ワイシャツ」のオシャレが目立つてきたことは確かですね。ワイシャツのオシャレのポイントといいますと。ただ寸法

をはかつてもらえばいいというものですよ。

仲道 やはり体格に合つたものということが第一です。若い人で既成品向きの方は、この方がお得ですけど……。首が太い、下がり肩、ハト胸などといわれる方になりま

すと既成品では合いません。

大体、今日ではワイシャツは、朝起きて、夜寝るまで一日中、身につけているものですから、身に合わないワイシャツを着て、肩をこらしたり、不愉快な気分になつて仕事の能率にも影響する——とのうのではつまりませんから、わざかの違いでしたらオーダーになさるほうが、いろんな点でお得でしようね。

ほんとうに身に合つたワイシャツを着られることをおすすめしますね。松井 ところで洋服屋さんといつてもそのお店によって、いろいろクセがあると思うんですが、自分の好みに合つたお店を見つけるまでがまず大へんですね(笑)。いずれにしてもオシャレの基本は、その人の個性にあつたものをつける——ということでしょうね。

安達 この頃の若い人は、映画やTVに出てくる衣装を好みますね。橋 例えばズボンね。あれはもう西部劇のものそのままですよ(笑)。安達 極端なのになれば、小林旭のあの映画に着ていたものと同じものはないかとかいうお客様さんがふえてきましたよ。自分の身体つ

## 表紙の言葉

實 飛 松

藤田嗣治の「女の顔」について

藤田嗣治の二度目の帰国は、一九三四年であるから、この「女の顔」は、その前年、帰国途中南米へ廻った時の作

といふことになる。

エコール・ド・パリの一員として、パリ画壇の寵児となり

してからすでに数ヶ年。技法の円熟を示す面相筆の線描は

いよいよ冴えを見せて、織細、暢達、しかも鋭く勁い。

得意のモチーフを、得意のメ

チエーで仕上げた画伯独特の清潔で気品高い作品である。

画面下部を相当カットして撮りながら、その個性にあつたものをつける——ということでしょうね。

その人の個性にあつたものをつける——ということでしょうね。

同じ作者の一九三七年作の「女と猫」の油彩を、もう一度見えてくるが、原画は、縦長で胸まで描かれている。毛髪部に茶褐色の淡彩を施し、画面をソフトに引き緊めている原画の感じが、どの程度まで印刷で表現できるか、少し気がかりでもある。

が、若々しく美しい。

——歌人・川重秘書課長——

きや個性をいかすことより、ステージのものに飛びつく傾向が強い

よ

うですね。"トレンチ・コ

ート"の出たときがそうでしたね

と

にかく若い人には、当り映画で人気のある主人公が着ていた服と

いうのは必ずといっていいほど受

けますね。事実、神戸でも映画を

観てきて、その時の衣装と同じもの

を作つて売つてられる店がありますよ。

ところが年配のお客さまのオシャ

レは、同じものを作つてられる店が

ありますね。自分で独占したい

嫌なんですね。自分が喜ばれる

いものが喜ばれるんですよ。

松井 つまり「オシャレ」心理の根柢にある二つの流れというものがそれなんですね。皆と同じもの

というのと、皆と全然違つたもの

という…。

橋 私たちの上着にしても、昔は英國調で、少しかフスが出るのが正式なんですね。ところが近頃はTVなどで歌手の袖の長いのをみますから、袖が長くなつてしまつたね。そして日本人には無理なやうな方が多くなりましたね。もちろん年配の方にはありませんが：

ズボンもそうですね、シングルが多いでしよう。

最近の若い方はスラッシュ

いい足になりましたが、まだ往々にしてガニマタの人がありますが、こういう人が細いズボンをはかれるといけませんね。

左近田 前であつたが、まだ往々にしてガニマタの人がありますが、こういう人が細いズボンをはかれるといけませんね。

松井 あまりにも身に合ひすぎ

左近田 逆に年配の方のは太くなつてきているんですよ。ゆつくりしたものという傾向ですね。そして高級ものになるほどその傾向ですね。

橋 ええ、大体がそういうことにな

りつつあるようですね。

仲道 今年の傾向としてハデな黄

赤などの色が流行する反面ですね

十代には「ブラック・アンド・ホ

ワイト」というような色を好む傾

向がありますね。これはほとんど十代に限定されますね。

安達 しかし、今の若い人の中で見かけでおかしいなーと思うんで

すが、紺のズボンをはいてグリ

ーンのセーターなどを着てる人があ

るけど、ああいうのは色彩感覚が

全然ないといえるんじやないかな

松井 つまり色彩的には、もうひ

とつ洗練されていないということ

ですか。

安達 マスクなどて今年はグリ

ーンが流行するということを知つ

て、そういうものを買われるの

いいんだけど、ただそれにズボン

が伴わない。中に着るもののが伴

なわないで上ばかりを飾りたてる

という傾向にあるんじやないでし

ようか。

ニューヨークなど大都市は一般

に地味なんですね。そしてアメリカ

カでもカリフォルニアとかテキサ

スに行けば日本のウインドウにあ

るような黄、赤などハデな色があ

るんですね。

松井 一口にアメリカといつても広いからね。各州、各地方によつてカラーハデな色が全部違いますからね。

左近田 それを全部つつ込みで日本にもつ

てくるから、ややこしくなるんで

すよ(笑)

安達 だから外人が日本にくるとハデだという印象を受けるんですよ。逆に日本人が、アメリカはハデだからといつて、赤などハデなものを持っていくと、地味なのでピックリするんだそうですよ。やはり西部など田舎町へいけばうん

とハデはハデらしいんだけど…。

仲道 ということは、場所に応じて色を着るという観念がアチラは大へん強いんじゃないかな。場所によつて服装を替えるということもオシャレの一つですね。

安達 場所とかその土地のムードに合わせてね。

橋 東部などは大へん地味らしい

ですね。ロンドン、イギリスと同

じようにダーク・グレイなどのこ

いものが多いらしいですよ。

安達 それと、ビジネス・ウェアも、遊び着も最近の傾向として何

がつきましたよ。

安達 それと、ビジネス・ウェアも、遊び着も最近の傾向として何

がつきましたよ。

橋 ほんといいますとベンツは、

アメリカ調ですね。大体、ビジネ

スにはいかんのですよ。ベンツも

アンドとしてあけるべきじゃない

でしよう。

橋 なあけてるから、あけて欲しいつ

ていう方が多いんです。

左近田 実際は、あけておくほう

がラクはラクなんですがね。

橋 すわつたり、ポケットに手を入れるにはいいですね。

センター・ベンツはアメリカ調で、英國はサイド・ベンツです。ダブルは最近へりましたね。仕事するにはシングルがいいですよ。

松井 チョッキなどもすい分へつてきたでしようね。

左近田 もうほとんど着ませんねも着られる場合は、変わりチョッキですね。

安達 三つ揃えなんてのは、みかけませんものね。

左近田 一同 そうですね。

仲道 ネクタイは、合わせにくいですね。大体、洋服の色に合わせて作りますが、既成服にはおおむね合うんです。ところが英國などから直輸されるオーダーには合いにくんですね。

左近田 ネクタイの今年の流行色はグリーンですね。仲道 全体的な流行色と云うとブルーで、茶色はもう下火ですよ。

橋 グレーにブルーが主体ですね。安達 もう先端は紺でしよう。

左近田 そうですよ。ご婦人のクツなども今年は紺系統が多いでしょう。

橋 今年のグリーンといつても、オリーブ・グリーンですかね。非常にダークで、ほとんどグレイに近いようなグリーンですね。

安達 パッとみれば黒のような感じですね。

仲道 婦人ものも、同じ傾向でしょ。黒は着こなすのは難かしいですよ。紺が一時流行したのは、いつ頃でしたかね、昭和五、六年ですか。

日本人と紺というのは合うのですね。

松井 スタンダードですね。ところで衣装の色で性格がわかるとかいいますが……。

橋 ええ、色彩で性格は大分わかりますね。

比較的、ヤセ型の人は紺かグレーが多く、性格も割り合いキチンとしてらっしゃいます。

橋 肥満体で、少しルーズなような性格の人は茶色が多いですよ。

左近田 たしかに色はその人の性格を表わしますね、ご婦人でも赤は情熱家、黒はつめたく、グリーン、紺は性質がおだやかという風なことは、ある程度まではいえますね。話がわかりますが、ゴルフ

仲道 一番のオシャレという時代は過ぎたようですね。むしろいまはハンターがオシャレのトップ

仲道 そういうことはいえますね。

左近田 とにかく、売る方もこれからは大へんですよ。出来あがつたものを売るんではだめ。勉強しないでくださいね。第一『元町』のよさがなくなりますもの。やはり東京大阪など遠方からわざわざ『元町

橋 へ来ていただからには特〇のあるものを作り出さなウソですよ。

松井 そうですね、神戸にしか、そして元町にしかないものを作らないとためでしようね。

左近田 一同 それはいえますね。

けの店を決めてらっしゃいますね。

仲道 オーダーのワイヤツも神戸の方がいいでありますよ。横浜もいいらしいですが……。

安達 たしかに技術は上ですね。仲道 外国旅行される方などは、神戸でかためて作って行かれますからね。もちろん既成品はたくさんありますよ。だけど身に合ったオーダーと、こちらの方が安くて、仕立がいいとおっしゃってくださる方が多いですよ。

左近田 きようのようによく、みんなが寄り合って話し合うことは大切ですね、元町いや神戸の発展のためにもね。

安達 クツも帽子関係の方もいらっしゃればなよかったです。

橋 みなさん、それぞれ関連性があるんですからね。

松井 それはいいことです、こんご大いに交流なさって、神戸ならではの特色を生み出して下さい。

（元町寿本舗別室にて）



# AUTUMN FOR MENS WEAR

ビジネス  
スタイル

写真は  
ネクタイ  
(元町バザー)

背広  
(元町バザー)  
ワイシャツとハンカチ  
(千秋堂)  
べつ甲のパイプ・ケース  
(太田べつ甲店)

ネクタイの

元町バザー  
元町一  
(3) 一四〇一

紳士服

三恵洋服店  
元町四  
(4) 七二九〇

男子洋品店

千 祀 閣  
元町四  
(4) 六九五九

べつ甲の専門店

太田籠甲  
元町一  
(3) 六一九五五

FOR MENS WEAR

レジャーアー  
スタイル

写真は  
香港ジャンバー  
(フナキヤ)

ネクタイ  
(神戸屋)  
時計

(美田時計店)  
トランジスターラヂオ  
(元町電機)

紳士用品

フナキヤ

元町三 (3) 三六一七

時計・貴金属・宝石

美田時計店

元町三 (3) 一七九八

男子用品

神戸屋

電器用品

元町二 (2) 二五八九

元町電機

元町六 (4) 三二七〇一五



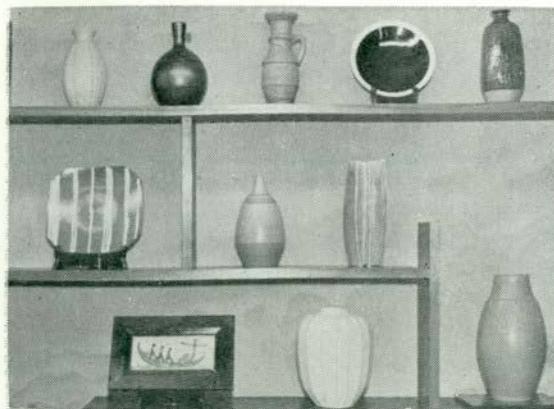


KOBE **SUGIYA**  
ハンカチと下着の店  
トアロード ③ 3436



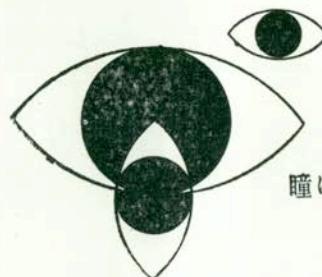
ワイシャツ専門の店  
**神戸シャツ**  
③ 2168 (大丸前)





三宮センター街・③1770  
本店・湊川商店街⑥2159  
大阪駅専門大店 ④0115

淡洲堂



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一(三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL ② 8161・8361



秋  
心にしみる  
灘の生一本

清酒  
大黒正宗



長崎堂のカステーラ

みんなに贈つて喜ばれる風味  
豊かな長崎堂の和菓子  
本店②4402・7515 元町店④4130  
直売店 神戸大丸 神戸阪急

<元町6丁目>

米国で評判の  
「カバーマーク」

神戸でもお目見え

アザ傷あとシミソバカスを隠す美容法



米国オリリー社とていけいして日本皮膚医学会で注目をあつめた「カバーマーク」の美容法を指導するサロンが神戸でも開設されました もしお困りの方がございましたら御来店下さい。

お問合せは……

ジャパンオリリー

神戸サービスサロン

くしや化粧品店内

生田区元町通5丁目山側 ④ 4210

最もリファインされた  
メガネ



平井メガネ

生田区加納町4丁目1ノ1  
国鉄三宮北側 ⑨ 1937